

平成 3 1 年 2 月 1 9 日

教育旅行受け入れの反省点について

1. 総論

平成 3 1 年 2 月 7 日に東京都立石神井高校からの教育旅行の受入を行いました。今回が初の受け入れであり、「大変難しいパターン」である 4 班分岐進行のケースで、高校側、受入側双方が事前、事後とも無事に予定を遂行できたことは大きな成果と言え、今後の受入に当たっての自信につながるものと考えます。

2. 事前準備について

- ① 今回の準備に際しては、旅行会社との打ち合わせ、動線等資料の作成等を、行政側にて行いました。今後これらの業務は、益城町教育旅行プログラムガイド事務局（仮称、以下「事務局」）によって行われるため、行政側との引継ぎが必須と思われます。同様に備品についても準備が必要になるものと思われます。
- ② 今回緊急対応は、行政が中心となり対応を行うこととしましたが、今後は事務局を中心に、当日対応者との入念な打ち合わせが必要になると思われます。
- ③ 都立石神井高校は、防災訓練等に力を入れていたため、校長から物足りないとの意見が出たとのことでした。このことについては、県観光物産課より、県の確認不足と説明を受けましたが、今後、学校側のニーズに合わせた説明が必要になると思われます。

3. 当日の運営について

- ① 当日の講話及びガイドの担当者は、1 箇所につき 1 名で対応されたため、疲労面が大変心配されました。今後は、各ガイドさんがスキルアップを行い、なるべく多くの方がお話しする機会を増やすべきと思われます。
- ② 当日の旅程表について、事前に余裕を持たせたスケジュールと聞いていましたが、実際、予想以上に余裕があったため、時間の変更が顕著となりました。今回行政にてコントロールいたしましたが、その際には SNS（LINE）を利用し、リアルタイムでやり取りを行いました。今後もやり取りに際しては、なるべくリアルタイムで運営を行ったほうが円滑に行うことができると思われます。
- ③ 当日の対応に際しては、今回役場職員含め、1 4 名体制にて行いましたが、今回のケースで今後の運営する場合は約 5 ～ 6 名で対応できるものと思われます。ただし、相応の熟練度が必要と思われます。

（例）今回の受け入れを想定した役割分担

講話	谷川	堂園
1 回目話す人	1, 4 回目話す人	1, 4 回目話す人
2 回目話す人	2 回目話す人	2 回目話す人
全体の運営補助	3 回目話す人	3 回目話す人

※講話や案内を行わない方は運営に回る。

※事故等が発生した場合は話し手の話す回数に変更となる。

- ④ 講話及び案内の時間については、学生の集中力が持たないケースも見られたため、講話は30分、案内は15分が妥当と感じました。
- ⑤ マスコミ対応については、大きな反響があり、成功だったと思う一方、谷川を紹介できなかったことが大変残念に思います。
- ⑥ 生徒の送り出し等、添乗員に任せることができる部分は、任せてもよいかと思われます。

4. 当日のガイド担当者からの意見

- ✓ ガイド間の連絡体制は良かった。連絡体制はとても大事だと感じた。
- ✓ 会場から現地、案内、講話などの時間配分が重要と感じた。
- ✓ **学校（生徒）のニーズがわからなかった。今後は知るべきだと思った。**
- ✓ 学校側が講義と間違えたのかもしれない。「講話」と言わず「語り」などに変わるべきでは。
- ✓ **講話会場のトイレが少なかった。**
- ✓ 他の案内場所との時間調整に困った。
- ✓ 谷川の案内場所が狭かった。
- ✓ 事前に各場所での分担（グループ）を行ったうえで、グループごとにも分担できたのが良かった。
- ✓ バスガイドに頼らず、自身で学生の案内を行った。
- ✓ テレビで放送されて良かった。これをきっかけに知人に頼まれ現地を案内した。とても自信になった。
- ✓ **学校で防災教育を学んでいたことを聞いていなかったため、途中で内容を変更した。**
- ✓ **学校の防災に対する教育方針についてもっと情報が欲しい。**
- ✓ **谷川と堂園には雨除け、日よけ等の対策が必要ではないか。**
- ✓ 現地案内では、パネルの掲示方法に工夫をすべきだと思った。例えば高い場所から見せるなど。
- ✓ 学生の質問が怖い。ただ帰りがけには少し答えることができるようになった。
- ✓ 交通量が多い場所もあるので現地での安全確保が必要。
- ✓ 15分間を一方通行で話してしまった。
- ✓ 生徒、学校に配る事前資料が必要ではないだろうか。

5. 決定事項等

- 名称は「益城教育旅行ガイド ～みんなで繋ごう防災・減災～」とする。
- ガイド料については、1回につき5,000円、補助には支払われない。補助者がガイドを行う場合は支払われる。
- プログラムの販売金額は講話+1箇所で500円、講話+2か所で700円、会場費等は別途徴収する。